

結城南中学校区新設校 について

学校建設費、概算事業費が約53億円、スクールバス運行経費が約9,460万円と試算されました。今後の財政運営への影響について伺います。

企画財務部長 新設校校舎建設事業に係る市債の借入れが想定されるほか、6年度当初予算の教育費においては、市民文化センター改

修事業費の天井等改修工事で9億1,080万円、新設校建設事業費の環境整備

としてテニスコート等改修工事で7,750万円を、それぞれ借入れる予算となっており、新規事業実施による普通建設事業費の増加により、それに伴う公債費

見込まれることから、今後、各指標が上昇し、財政構造の硬直化が進み、本市の財政運営は厳しい状況になるものと認識をしている。

学校建設事業費約53億円のほか、スクールバス運行経

費など多額の支出が見込まれます。さらに、今後予定されている大型事業と物価、資材、賃金、光熱費等の上昇を考えると、学校建設の中止、凍結も踏まえて検討することも必要だと考えますが、見解を伺います。

市長 これ以上先延ばししても、今より経済的環境が

良くなるとは考えていないので、子供たちのために、今やらなくてはいけないと

考えている。南中学校区には核となるものが一つ、学校として存在した方が子供の学びにとっても良いと考えており、

地域のためにも、10年20年先に「良い投資だった」と言われるような学校づくりをしていきたい。建築費もこれで確定した訳ではなく、何とか1割でも安くできる形を取りたい

と思っているので、ご理解をいただければありがたい。教育先進地となって、全国から視察に訪れるような

学校づくりをしたいと思っている。



結城南中学校区新設校 令和9年開校にこだわらず柔軟な対応を！



大里 克友
(おおさとかつとも)

録画映像
はこちら

